法人会青年部会会報誌

発行日／2023 3.31

YUME TAKKUSU
夢タックス No.57

発行者／(公社)新潟法人会青年部会　事務局／新潟市中央区西堀通3番町258番地24　にいがた法人会館内　TEL025-223-1242

令和４年度　租税教育活動について

令和４年度の租税教育活動は小学校向けに４～６月に９校19コマ計615名の児童に対して令和３年度から青年部会として取組んでいる文科省のＧＩＧＡスクール、主体的・対話的な学び（アクティブラーニング）の考えに対応したタブレット端末を活用、グループワークを中心とした実践的な授業内容で出張授業を実施いたしました。近年のコロナ禍での学校側からの出張授業への要望の低下で、以前より実施校数も減っていましたが、今般のコロナ情勢の変化を鑑みて、今後の実施校数の増加を目指し、また新しい授業内容への変化の中でも講師を担当できる部会員も増やしていきたいとの考えから、青年部会内での租税教育研修会を企画し、令和４年度租税教室終了後の下期に計２回実施をいたしました。

研修内容としましては、各小学校の担当講師決定から当日までの準備などを説明後、使用する授業内容台本（シナリオ）に沿って以前実施した実際の授業映像を見ながら、具体的な解説をして

夢タックス YUME TAKKUSU | No.57 | 発行日 2023.3.31 | 発行者／(公社)新潟法人会青年部会　事務局／新潟市中央区西堀通3番町258番地24　にいがた法人会館内　TEL025-223-1242

地域社会貢献活動「献血」

令和5年 2月19日(日)　新潟県赤十字血液センター 献血バス

令和５年２月19日(日)に今年度の地域社会貢献活動として献血を行いました。これまでは新潟市内で行われるプロバスケットボールの試合会場にて献血バスを配車いただき、新潟法人会青年部会会員による献血お願いの呼びかけ等を行ってきました。しかしながら長く続く新型コロナウイルス感染の状況下において、呼びかけによる対人接触の機会を少なくすることが求められ、また日本赤十字社では献血バスの配車予定を献血のオンライン会員にお知らせし事前に予約してもらうことで当日の混雑を緩和させる対応が進んでいるため、従来の活動方法を改変していく契機となりました。今後の献血を含む地域社会貢献活動を見直していくべく、今回はまず私たち自身が献血を行ってみよう、という事でオンラインでの献血予約から当日の流れなどを体験することとしました。日本赤十字社の献血推進課にもご協力をいただき、新潟市中央区美咲町にある新潟県赤十字血液センターに献血バスが配車される日程にて新潟法人会青年部会でまとまってオンライン予約を行いました。

当日の2月19日は日曜日ではありましたが、新潟法人会青年部会の会員 11名が献血に参加し、その中に今回が初めての献血となる会員が 4名いました。私自身も法人会の地域社会貢献活動がきっかけで初めて献血を行い、今回で献血回数が 12回目となりました。こうした活動が一人ひとりの献血に参加するきっかけをつくり、継続していくことで社会貢献の輪が徐々に大きく広がっていくことを改めて実感いたしました。

日本赤十字社の献血推進課ご担当者のお話より、冬季はどうしても献血に来られる方の人数が減ってしまい、輸血に利用される血液の十分な備えを保つことが容易では無いことを伺いました。このような季節的要因も考慮し、今後の地域社会貢献活動を計画していく必要性も感じることができました。結びに、今回の地域社会貢献活動に参加していただいた会員各位には改めてこの場をお借りして感謝申し上げます。今後ともご理解、ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

副部会長　遠藤　俊介

青年部会　部員募集!!

青年部会は税務研修・企業訪問・社会貢献事業・親睦交流等活発に、
そして楽しく活動しております。
今後の更なる発展に向け、ただいま新入部会員の大幅増強を図っております。
法人会会員企業の皆様より、経営者や後継者、経理・営業部門の幹部候補の方々を
ご推薦賜りたくお願い申し上げます。

(公社)新潟法人会　青年部会
●お問合せは　法人会事務局／TEL025-223-1242

法人会青年部会は
献血サポーターに
登録しています

献血サポーター

私たちは
献血推進キャンペーンを
応援しています。

令和４年度　租税教育活動について

理解を深めてもらいました。研修中にも様々な意見、質問も出て、部会員の授業に対する不安の解消、スキルアップにつながり意義のあるものとなったと思います。

また、２回目の研修会には新潟税務署の宮崎、澁谷税務広報広聴官にもオブザーバーとして参加をしていただきました。研修後に使用しているシナリオについて、誰でも授業が行えるようなものとなっており、新潟市租税教育推進協議会の他会員にも法人会青年部会の取組みを紹介していきたいとのご評価をいただきました。

また、令和５年度に向けての税務署から各小学校への租税教室アンケート結果について、タブレットを使用した授業の要望が多いとの報告もありました。令和５年度も多くの青年部会員の講師参加のご協力をお願いすると共に、今後も研修会を通じて高めた知識、経験を実践し、より児童の税への興味や知識が深まる租税教育活動を目指していきたいと思います。

租税教室委員長　阿部　渉

Welcome and Farewell Party

歓送迎会

令和５年 １月３０日(月)

令和５年１月30日ＡＮＡクラウンプラザホテル新潟にて、年末年始に人々の移動に伴う感染症第８波が懸念されましたが大きな感染増加もなく安堵していたところに、数日前からの大雪に見合われご多忙の最中25名ご参加で青年部会歓送迎会を開催することが出来ました。

当日は碓井部会長よりご挨拶を頂き、清水副部会長の乾杯ご発声にて終始和やかな感じで宴が進行しました。途中、本年晴れてご卒業（業務都合にてご欠席、佐野様を除く）坪谷様、花井様、本山様より一言ずつ叱咤激励のお言葉を頂戴しました。

また終盤では本年度ご入会の方々より自己紹介をしてもらいました。新入会員の方々には新潟法人会青年部会の活動に積極なご参加ご協力を頂きますようお願いします。

今後は新メンバーと共に協力し、先輩方が築かれた青年部会をさらに盛り上げる誓いをし、歓送迎会ご報告と致します。

組織・企業交流委員長
岡村　雅盛

Company visit

企業訪問

令和４年 １０月３日(月)

令和４年10月３日、令和４年度企業訪問として新発田方面へ向かい菊水酒造株式会社様、野澤食品工業・旧マルマス蔵様の見学を、碓井部会長はじめ11名の参加を頂き企業訪問をしてまいりました。

当日は新発田清水園にある米蔵ココロさんへ立ち寄り美しい庭園を眺めつつ昼食にて地元食材を堪能。その後菊水酒造株式会社様を訪問、酒蔵をはじめ日本酒造りの一連の工程をご説明頂き、日本初の有機空間の蔵「節五郎蔵」や圧巻の日本酒文化研究所を見学させて頂きました。

またその後は国の登録有形文化財（建造物）の一つ野澤食品工業・旧マルマス蔵様へ移動し現在は幕を降ろしていますが明治初期よりつづいた醤油の醸造の一幕を見学させて頂きました。蔵の内部には当時より使用の醤油を絞るための槽（ふね）や大きな六尺樽等を見学、圧巻でした。帰りに購入させて頂いた醤油「ふたなつ」はその名の通り夏を二回こしてようやく完成となる無添加の醤油、帰宅後に早速使用させて頂き醤油の概念が変わったのは言うまでもありません!!!

今年も地元企業様の様々なお話をお伺いでき新たなる気づきを得ることができました事、また部会員同士の交流も深めることができ大変有意義な企業訪問となりましたことに感謝し、企業訪問のご報告と致します。

組織・企業交流委員長
岡村　雅盛

第38回新潟県法人会連合会青年部会 連絡協議会合同セミナーについて

令和４年 １０月５日(水)

本年の県連合同セミナーは、10月５日に佐渡市の『あいぽーと佐渡』にて開催されました。

当部会からは、碓井部会長、遠藤副部会長、田中副部会長の３名で参加しました。各単位会合わせて55名の参加でした。

佐渡法人会青年部会金子部会長に開催地としての挨拶を頂き、記念講演会へと進みました。

記念講演会は、尾畑酒造株式会社の５代目蔵元である尾畑留美子氏による『グローバル時代こそ、ここにしかない、魅力を磨こう』という演題のもと、一度佐渡島を出て東京で映画の仕事をされた経験と、佐渡へ戻った際の自身と周囲とのギャップに悩まれながらも、都会には無い故郷の魅力に気づき、その魅力を様々な手段で発信することで道が拓けていった経緯をお話し頂きました。

その後の交流懇親会は、佐渡市の『ホテル志い屋』にて、佐渡の新鮮な海産物を頂き、佐渡伝統の鬼太鼓を鑑賞しながら、各単位会同士が愉しく交流する有意義な盛会にてお開きとなりました。

次年度開催地は柏崎市です。勉強と交流の為、多くの部会員の参加をお願い致します。

副部会長　田中　健一